

使用者の声

「殺線虫剤 ネマトリンエース粒剤」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介します。



石原

殺線虫剤

ネマトリンエース
粒剤

®は登録商標

【にがうり】 宮崎県 大木さん

高品質・高収量を目指すうえで、 線虫防除の“背骨”として 欠かせない存在。

ネマトリンエース粒剤は線虫防除の基本。
ゴーヤ定植前に線虫をしっかりと叩く。

宮崎県佐土原町できゅうりとゴーヤを16aのハウスで輪作している大木さんは、9月にきゅうりを定植し翌年1月末まで収穫、その後2月から7月までゴーヤを栽培するという体系を奥様と共に続けています。就農したのは今からおおよそ20年前。「最初はわからないことも多く、やる気が続かない時期もありました。独立してからはより農業に向き合うようになり、品質や収量をどう高めるかを常に意識しています。最近では新しい資材について友人と情報交換をし、自分でも試しながら、農業をまるで趣味のように楽しめています」と笑顔を見せます。

日々、新たな資材が登場する中で、ゴーヤ栽培の線虫防除で欠かせず使用しているのがネマトリンエース粒剤です。「もう10年以上は使っています。ゴーヤの栽培後半はどうしても線虫被害が出てしまい、過去には4月後半から樹が萎れはじめ、6月頃には完全に枯れてしまったことがありました。そのため、栽培後半に出てくる線虫被害をいかに抑えるかが重要になります。ネマトリンエース粒剤なら、線虫が作物の根部に侵入することも阻止できるので、これをベースに他剤と組み合わせで定植前にしっかり防除しておけば、収穫が終わるまで線虫被害を抑えてくれます。線虫対策の“背骨”のようなイメージで活用しています」と、評価をいただきました。



*剣は合成です

子どもたちの笑顔のために、 常に高収量・高品質を目指す。

最近ではバイオスティミュラント資材にも注目している様子里で、「基本はネマトリンエース粒剤で線虫被害を抑え、健康な樹を維持。そのうえで、さらに生育をサポートする手段としてバイオスティミュラント資材を活用していきたいと考えています」と、今後の栽培についても教えてくれました。経営規模は今後も16aを維持しつつ、「収量や品質は常に高めていきたい」と意欲を示します。

「収量が安定していると精神的に余裕が持てますし、息子たちが毎日笑顔で過ごしてくれるので、私自身も頑張れます」と父親としての喜びを話す大木さん。現在11歳の長男については「無理に後を継がせるつもりはありません」としながらも、「農業に良い印象を持ってもらい、自分から“継ぎたい”と言ってくれたら良いと思います。そのためにも、まずは私が良い仕事をし、家庭と両立している背中を見せたい」と抱負を教えてくれました。ご家族の笑顔のため、収量安定と高品質に励む大木さんの営農を、ネマトリンエース粒剤が支え続けます。

※取材時(2025年8月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。



Local Insight, Global Impact

石原バイオサイエンス株式会社
〒102-0071 東京都千代田区富士見2丁目10番2号



“使用者の声”は
webでもご覧
いただけます